

回覧

<アディショナル・エディション～Additional Edition >

2019年度 第三回 定例役員会 2019年3月2日（土）

～2019年3月15日（金）作成～

< 館長報告 > 追加分

館長 土井 承夫（どいよしお）

<速報～フレイキングニュース>

平成31年（2019年）3月11日付けで

福庭自治公民館は法律によって

正式に法人化されました！

平成31年（2019年）3月11日は福庭自治公民館にとって歴史的な日となりました。

地方自治法第260条の2第5項の規定により福庭自治公民館は「地縁による 団体として認可」すなわち「法人格を取得した団体」として認可され正式に「法人化」されました。

これにより現在進めている公民館の新築に関し、不動産（建物、土地）の登記、公的助成金の申請、必要資金の借り入れ等が可能となりました。

この偉業はこの分野に精通されている土井 博文 副館長の絶大なるご努力によって成し得たものであります。深く感謝と敬意の念を表明致します。

この法人化の許可を受けて、不動産所有権の登記名義を許可前の代表者などの個人名義から法人化された公民館に所有権移転登記を申請する事になります。

この作業は既に総会で承認されている地元の西川正志 司法書士と私の二人で現在何も遅滞する事なく予定通り粛々と進んでいます。たとえ少しの反対があったとしても新しい法律によって 100%克服出来るようになっており何の問題もありませんのでご安心ください。2、3 ページに倉吉市長名で発行された今回の法人化許可の公式文章を掲載致します。

この2枚の「法人化認可」の文章は、額に嵌めて今の公民館に掲げておきますのでご覧になって下さい。

<公民館新築特別寄附金（自主的な寄附）の第一回目集計結果について>

3月2日（土）の定例役員会時に各班から集めた題記寄附金の第一回目集計結果は次の通りです。

- (1) 寄付頂いた世帯数： 95 世帯 （全体の約 23%）
- (2) 寄附金の合計： 217 万円
- (3) 個々の寄付金額の概要： 最高額：30 万円（1 名）、10 万円（5 名）、
5 万円（7 名） 3 万円（2 名）
2 万円（8 名）（3/19 訂正・追加）
1 万円（70 名） 1 万円未満（2 名）
- (4) 今回は寄附を見送られた世帯数： 312 世帯
- (5) この結果を受けての執行部から住民の皆様へのお願い。

- 1 この自主的な寄附金は新公民館が完成する来年 2020 年 12 月 31 日まで受け付けますが、今年 2019 年 7 月末までに開催する臨時総会で最終的な建設費総額、建設仕様、財源の振り分け等を確定させますので、その際にこの寄付金の概略を掴む必要があります。従って本年 2019 年 7 月 15 日で一旦締めて総額を集計します。
- 2 まだ寄附をされていない方は是非この期日までにお納め戴ければ幸甚です。～然し、あくまでもこの寄付をするかしないかは個々人の自由である事にいささかの変更はありません。
- 3 1 月号「館長報告」に新築計画の工程と財源について詳細にご報告していますが、この自主的な寄附金の目標額は 1,000 万円です。当初、建設費総額を 3,300 万程度に観ていましたが、回覧している図面通りだと約 700 万円アップの 4,000 万円程度になります。この増額分は倉吉市の低利貸付け制度からの枠内で調達していきますが、言い方を変えると将来の借金返済年数が延びる事であり、是非、最低でもこの目標 1,000 万円が達成できますよう皆様のご協力を切にお願い致します。

今後は毎月の「館長報告」で随時、上記の様な集計結果をお知らせしますので参考にして下さい。

<館長の行動日誌>

申し訳ありませんが4月6日(土)付けの4月号「館長報告」で1,2,3月分を纏めてご報告します。何卒ご了解ください。

～ 館長のちょっと一服コーナー ～

3月号「館長報告」本編で言及した湯梨浜町の国際交流員(CIR)ジュリアナ・ケレハーさんのお話です。

広報誌「ゆりはま」に「ジュリアナ トーク」というコラムを設け、毎月3年間に亘って執筆されました。日本人でも書けない様な高度な文章には毎回驚きをもって読ませて頂いています。

先月の2月号では米国サンフランシスコ市の中華街でアジア系アメリカ人が旧正月(チャイニーズ・ニューイヤー)を盛大に祝う事に触れ、今年の干支は「豚(ぶた)」であるとレポートされました。干支(えと)が日本に伝わった時には日本に家畜としての豚がいなかったのが、近いイメージの「イノシシ(猪)」が使われたとも説明されています。

私事で恐縮ですが長男が1983年生まれの「イノシシ年」で12歳になった1995年は家族でシンガポール生活をしていました。150年間もイギリスの植民地だったシンガポールでは11月中旬から12月末までクリスマスのデコレーションとイルミネーションで特に日本の東京・銀座通りにあたるオーチャードロード(5車線の一方通行)はここまでやるかと思うくらいの光の饗宴になります。車はこの通りの空中にも架けられた電飾の下を走行する事になりドライブしながらその華やかな世界を堪能できます。ところが年が明けて1月1日になると、沢山飾られていた「トナカイの絵」が一夜にしてその年の干支に変わります。当然今年は精悍な「イノシシ」の絵だと予想していたのがふっくら太った「ブタ、ブタ、豚・・・」ではないですか?小学5年生の長男とゲラゲラ笑ってしまいました。(多民族のシンガポールでは7割以上いる中国系が幅をきかせており、正月は干支を飾る習慣があります。ただ共通語はネイティブの英語で全民族が2,3か国語を流暢にしゃべるバイリンガル、トリリンガルです。)

先月のジュリアナトークのなかで、彼女は干支占いをしたら「いったんリセットして・・・」と書かれていた・・・「今年は私にとって人生の次の章が始まる」と決意を述べておられました。健康には気を付けて元気で次の人生のステージも輝いて欲しいと切に思いました。

～ テイク・ケア & グッド・ラック、ジュリアナ! ～

